

中玉トマトの品種比較試験の供試品種募集要項

令和7年6月10日

埼玉県農業技術研究センター

農業技術研究センター（以下「センター」という。）では、本県の主要な野菜であるトマトについて、品種特性を把握する試験を行っています。令和7年度は中玉トマトについて、トマト黄化葉巻病耐病性品種の特性把握試験を行います。供試品種は埼玉県電子申請・届け出サービスを用いた公募により選定します。

- 1 研究課題名：施設園芸作物の新品種等特性調査（モニタリング）
- 2 細目課題名：果菜・花き類の品種特性調査
- 3 供試品種系統数：2～3（予定。対照品種を含む）

※対照品種は、県内で多く栽培されている「フルティカ（タキイ種苗株式会社）」とする。

- 4 試験場所：センター内ほ場、高軒高ハウス（養液栽培）
- 5 耕種概要：8月下旬播種、10月下旬定植
- 6 調査項目

- （1）生育調査：茎径、節数、茎長
- （2）収穫調査：重量、個数、外観品質
- （3）品質調査：糖度、酸度

※ウイルスの接種等による耐病性の比較は行わず、生育、収量の比較試験とする。

7 供試品種の条件

- ・埼玉県で現在広く一般に販売され、作付けの実績があるもの。販売開始2年以内、もしくは今後2年以内を目途に埼玉県での販売を予定している品種系統であること。
- ・中玉トマトであり、トマト黄化葉巻病耐病性を有する品種であること。
- ・供試品種系統数は、1者1品種系統までとする。応募多数の場合供試できない場合もある。
- ・供試種子量：100粒以上。（種子についてはセンターで購入します）

8 応募資格

育成権者または育成権者の同意を得た販売代理店等

9 応募方法

埼玉県電子申請・届け出サービスにより応募

◆応募先 https://apply.e-tumo.jp/pref-saitama-u/offer/offerList_detail?tempSeq=96813

10 応募期間

令和7年6月16日（月）～令和7年6月27日（金）

11 選定方法

- ・応募数が定数を超えた場合は、埼玉県での作付実績（面積、種子量）等や、比較する目的以外の特性、形質等をセンターが評価し、選定する。評価が同程度の場合は「くじ引き」により選定する。
- ・応募数が定数に満たない場合は、センターが農林振興センターや県内農業者団体等の意見を参考に選定する。

12 選定結果の発表

7月上旬にセンターホームページで公開

13 成果の公表

センターは試験結果を、品種名を含めて論文、学会発表、成績書、指導資料として利用するほか、県ホームページでも成果を公表する。

14 募集に関する問い合わせ先

所在地：〒360-0102 熊谷市須賀広 784

担 当：埼玉県農業技術研究センター 施設園芸先端技術担当

電 話：048-536-3091（直通）